

科目名	日本語・日本文化論各論Ⅰ		
曜日・講時	木曜4限		
セメスター	5	単位数	2単位
担当教員	K O P Y L O V A O L G A		
科目ナンバリング	LHM-OHU308E	使用言語	使用言語は英語です（日本語での説明も可）
メディア授業科目		主要授業科目	○
授業題目	Japanese Popular and Consumer Culture from Edo to the 1930s		
授業の目的と概要	本授業は江戸時代初期から2000年代までの期間に焦点を絞り、日本のポピュラー・カルチャーの進展を辿っている。日本における創造生産の特徴、人気のあるコンテンツの種類及び典型的な消費パターンを紹介し、それを形成した要素を学生に考察させる。それによって日本のポピュラー・カルチャーの概要だけでなく、大衆文化の根本的な原理の理解が成立することが期待される。さらに、皆さんが講義と課題によって日本のポピュラー・カルチャーをめぐる研究と接触し、これから自分の研究において活用できる観点や考え方を見つけたらありがたいと思う。		
学習の到達目標	――江戸時代初期から2000年代にかけての日本の大衆文化の全貌を把握する。 ――各々のメディア、ジャンル、また創造産業の登場と展開を裏付ける歴史的状況、技術、そして社会の相互作用を理解する。 ――日本におけるメディアや消費活動などの特徴についての知識を活用し、世界中の大衆文化における傾向、また消費者と生産者の関係などを分析できる。		
授業内容・方法と進度予定	1. Course introduction; defining popular culture 2. Proto-popular culture in the Edo period I: Regular folk's entertainment 3. Proto-popular culture in the Edo period II: Performing arts 1 4. Proto-popular culture in the Edo period III: Performing arts 2 5. Proto-popular culture in the Edo period IV: Literacy + the blessing of woodblock printing 6. Proto-popular culture in the Edo period IV: Woodblock prints 7. Animated movie screening: Miss Hokusai (2015) 8. Proto-popular culture in the Edo period IV: Traveling for business and pleasure 9. Taishō period I: Urbanization, westernization, new consumer culture 10. Taishō period II: From stage to screen 11. Taishō period III: Shōjo culture, and Takarazuka Revue 12. From Taishō to Shōwa: Kamishibai 13. Popular culture and the supernatural I: From folk beliefs to entertainment 14. Popular culture and the supernatural II: from documented folklore to urban legends 15. Animated TV series screening: Mushishi (2005–06, 2014), Yamishibai (2013–) （講義構成は変更することがあります） (the lecture content may be subject to change)		
成績評価方法	成績評価は、次の方法と割合で行う： 出席（20%） 課題（80%）：テキストに基づく課題50% ＋ リアクションペーパー30% 課題は重要！ 出席=1、遠隔での参加（特別の理由がない限り）=0.5		
教科書および参考書	No textbook will be required as readings will be provided by the instructor.		
授業時間外学習	1週間に3時間程度の準備学習（予習・復習等）が必要となる。 復習①（1時間程度）：ビデオ上映の後、リアクション・ペーパーを作成し提出すること 復習②（2-5時間程度）：論文や一次資料に基づく課題 復習③（1時間程度）：講義の後、スライドを再確認すること		
実務・実践的授業			
その他	If you have any questions regarding the course, feel free to contact me via the following email: kopylova.olga.d4@tohoku.ac.jp You can also find me in my office (building C13, 827) on Mon.~Fri. 8:30 am-17.30 pm. 私の主な連絡先： kopylova.olga.d4@tohoku.ac.jp		

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間です。